

事業所名

という

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

3月

4日

法人（事業所）理念	<ul style="list-style-type: none"> ・個々のスペック、多様な価値観、なりたい自分、なれない自分。全てを受け入れ尊重し合い、障がいという理念をなくすことで心理的安全性のある社会を築く。 ・児童が心身ともに健やかに生まれ、且つ、育成されるように努めなければならない。 ・すべて児童は、ひとしくその生活を保障され、愛護されなければならない。 				
支援方針	<p>苦手を克服させる強制的な支援ではなく、お子様の得意や好きを伸ばすことで、一人ひとりの自信に繋げるための支援を行う。</p> <p>日常生活を送るために必要な動作の習得や集団生活に適應することが出来るよう、また運動療育を通して脳内の伝達神経物質を増やし前頭前野の活性化することで、適切な気持ちのコントロールが出来るよう支援を行う。</p>				
営業時間	10時	0分	19時	0分	送迎実施の有無 <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<p>基本的な生活スキルの獲得のために、自分で身支度や物の管理が出来るようにする。</p> <p>特定の時間を療育時間と設定し、スケジュール通り活動することを学ぶ。</p>			
	運動・感覚	<p>公園やスイング遊具を使用した遊びを通して、身体を大きく動かす粗大運動を向上させる。</p> <p>1日30分の運動プログラムを用いて、感覚刺激を入れる。</p>			
	認知・行動	<p>一日の活動の流れを視覚的に分かりやすく提示し、見通しをもって活動に取り組む事ができるようにする。</p> <p>意欲的に取り組める課題設定を行いながら、運動プログラムに基礎的な動きの真似や、走る・片足立ち・ジャンプ等を取り入れボディイメージを育む。</p>			
	言語コミュニケーション	<p>終わりの会での発表を人前で行い、自分の思いを言葉で伝えられるようにする。</p> <p>他の児童との関わりを持てるように集団で活動を行い、適切な言葉遣いやコミュニケーションを学べるよう言葉かけを行う。</p>			
	人間関係社会性	<p>集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する。</p> <p>友達との遊びを通して、他社の気持ちの意図を理解したり、適切な行動が出来るように言葉かけを行う。</p>			
家族支援	送迎の際に1日のというでの様子を報告し、ご家族からお子さんのご家庭での様子や心配などについてお話を伺い、ご家庭でも実践できるような環境づくりや関わり方の工夫を一緒に考える。	移行支援	学校や園との連携を行い、就学・進級に向けてサポートを行う。		
地域支援・地域連携	戸外活動や公園遊び等、地域との結びつきを持つことで、外出時のマナーや交通ルール等、社会性を学ぶ事ができるようにする。	職員の質の向上	外部研修や事業所内研修を行い児童の理解を深める。		
主な行事等	<p>（日々の活動） 運動、公園遊び、学習支援など</p> <p>（イベント） お出かけ、クッキング、季節ごとの行事（夏祭り、水遊び、クリスマス会、お正月）など</p>				